

はじめに

KIT では同期の友人達が修士発表を終えたようで、RIT では春学期が始まって1ヶ月が経ちました。今学期はクラスのレベルが上がり、RIT のアカデミックの授業を1つとる事ができるようになりました。アメリカの大学では学期の最初の週の授業は自分で聴講したい科目を聞き、興味がなかったり、難しいと感じた場合、科目を変える事が可能です。私も三つの授業に参加し、その中から興味があった科目を聴講することにしました。更に前学期から引き続きイントラミューラルのサッカーに参加をすることで心身ともにとっても充実した生活をおくっています。しかしKIT の学部留学生が二月中旬に帰国したため、時間の経過の早さに驚いています。残り2ヶ月悔いの残らないようにより励んでいこうと思います。今月の報告書では今学期受けている授業の詳細について書いていこうと思います。

今学期授業一覧

今学期のRITではELCにて英語の授業を3つとアカデミックの授業として1つを受講しています。ELCのレベルは一つ上がり、Advanced levelで、そのうち4つのクラスを受講するか3つのクラスとアカデミックの授業をとることが必須項目としています。今回のクラスで人数の関係上、1クラスで18人になったため少しわいわいとしながらみんなフレンドリーに授業を盛り上げてくれるため楽しみながら授業を受けています。

#### Speaking & Listening Class

一学期で4UNITを勉強するのですが、各ユニットの最後に必ずテストとプレゼンテーションをおこなわなくてはなりません。最初のプレゼンテーションでは二組で高齢者が抱える社会的問題を取り上げそれについて解決策や二つの国を比較しながら発表しました。与えられた時間は15分でした。前学期に多くのプレゼンテーションをしてきたため、発表はスムーズに行う事ができました、しかしまだまだ文法的な指摘が多く、よりアカデミックに話すにはより訓練が必要だと先生からご指摘をうけ、来月のプレゼンテーションに向けて準備をしていきたいと思っています。

#### Writing & Reading Class

この授業でも引き続きエッセイを読みそれらを利用して一つの問題について自分の意見をエッセイで説明する授業です。しかし授業レベルがあがったため、1週間で3つもの長いエッセイを読む必要があり予習に多くの時間が必要になります。そしてさらにそれについて自分の意見を英語で表現しなくてはならないため私は一番苦手としています。エッセイを書いても何度か書き直さなくてはなりません。そのため現地の友人に協力していただき添削をしていただいています。まだまだ単語の使い分けやより専門的な用語が必要です。やはり量をこなすと慣れてくるもので、これを継続していけるようにしたいと思います。

#### Analysis & Acc Class

文法的なことを今度はさらに深く説明を求められる授業です。例えば、なぜこのパラグラフではこの自制が使われているのかなど文の構成からよりアカデミックな文の構成などを説明できるよう理解しなくては行けません。日本で習ったことをまた復習する形ですが、使い方を習うのでただ文法の使い方をならっただけでは対応できないのが現状でした。この科目でもライティングやリーディングのスキルが大切であり、すべての科目がつながっていることを実感しています。

#### Survey of west Art and Architecture 1

この授業では古代ヨーロッパから中世ヨーロッパまでの文化やアート、建築までを歴史的背景か

ら考察する授業です。私の専攻である建築の授業を聴講しようとおもいましたが、RIT では修士のクラスしかなかったため、大量の論文を読む必要があり、時間的にあきらめるしかなかったため、この授業を受けようと思いました。授業の構成は、毎回先生の講義を聞き、各ユニットの終わりに必ずテストとプレゼンテーション、エッセイを提出しなくてはなりません。初めてのネイティブの人のまえでの発表と長いエッセイを書くため、この授業に多くの時間を使いました。しかし、授業はとてもわかりやすく興味深いトピックばかりで集中して授業に取り組むことができます。

おわりに

残りの留学生活も2ヶ月を残すだけとなり、前学期に比べより一層忙しい生活をしていますが、とても充実しておりやりがいを感じています。たくさんの友人ができ、ネイティブの人と話す機会がとても増えてきました。たくさんのことを吸収しながらさらに成長していきたいです。

以上で2月分の報告を終わります。